

- ▶ 大牟田市では不在地主の増加等で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害発生防止等の森林の持つ公益的機能が低下する恐れがあるため、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組みを進める。
- ▶ 森林経営管理制度の推進
 - ・森林経営管理制度を推進するため意向調査及び境界明確化のための森林境界保全図作成を民間事業者へ委託を行った。
- ▶ 次年度以降は計画に沿った森林境界明確化及び意向調査を行う。

□ 事業内容

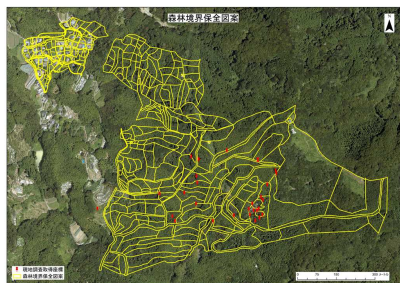
1 森林所有者への意向調査、森林境界保全図作成の実施

- ・令和2年度に策定した「大牟田市森林経営意向調査実施計画書」に基づき、令和4年度に境界明確化を行った森林に隣接した森林所有者を対象に、意向調査の実施。また、森林境界明確化を円滑に進めていくための森林境界保全図の作成を行った。

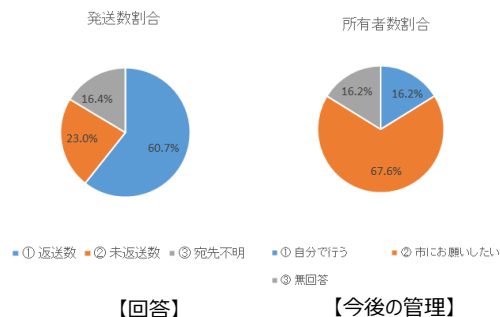
【事業費】9,768千円（全額譲与税）

【実績】意向調査19.98ha 37件の回答（60%）

森林境界保全図作成28.17ha



（森林境界保全図）



【回答】

（意向調査）

□ 事業スキーム

1 森林所有者への意向調査及び境界明確化の実施



□ 工夫・留意した点

- ・意向調査実施時や森林整備、災害発生時の対応の際には、土地の境界が確定していることが求められるため、森林境界明確化に係る事業の実施について、航空測量レーザ及び資源量・地形解析データを用いて行った。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額	12,734千円
②私有林人工林面積（※1）	211ha
③林野率（※2）	23.1%
④人口（※3）	111,281人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1,2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より

- ▶ 令和3年度に日本初『動物園内にある絵本美術館』がオープンし、多くの来園者に木の暖かみ、温もりを感じられる機会の提供を行うため、木製備品を導入した。
- ▶ 令和6年度以降も公共施設での木製備品導入を推進する。

事業内容

1 公共施設の木製備品導入事業

- 令和3年10月1日に大牟田市動物園内にオープンした『ともだちや絵本美術館』において木製備品等を導入。

【事業費】 996千円（全額譲与税）

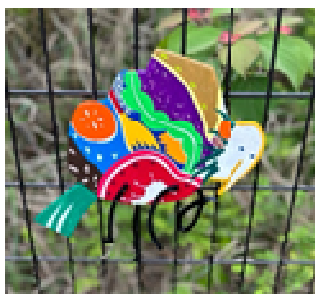
【実績】 ・アートプランター：5基 ・木製ガーデンテーブル：2基
 ・木製ガーデンチェア：8基 ・木製パラソル：5基



↑木製ガーデンテーブル・チェア



↑木製パラソル



←アートプランター

事業スキーム

- 絵本美術館空間演出に関する木製備品等調達



工夫・留意した点

- 絵本の世界に合わせた木の温もりをもたらす「空間演出」に必要な備品の調達を行うため、専門的知識を持った業者の選定を行った。

基礎データ

①令和5年度譲与額	12,734千円
②私有林人工林面積（※1）	211ha
③林野率（※2）	23.1%
④人口（※3）	111,281人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1,2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より



大牟田市
ともだちや絵本美術館
<https://tomodachiya.jp/>